

外張り断熱工法

断熱厚50mm超～100mm以下
横胴縁 限定基準

1-1 はじめに

モエンサイディング(以下モエン)の安全性と品質を確保するために、ニチハの施工基準を設定しております。外張り断熱工法の外壁部分を安全に施工していただくための基準となります。対象は補助棧(横棧)、防水紙、胴縁、モエンの施工に関する外壁部分についてのみとし、屋根、基礎などの部分の断熱方法、取り扱いについては除外させていただきます。

※ モエンの施工については、設計施工資料集「モエン標準施工法」も併せてご参照ください。

1-2 ニチハ施工基準(断熱厚50mm超～100mm以下)の概要

1) 本工法の主なポイント

- ①断熱材(発泡系)の厚さが、50mm超～100mm以下限定の基準です。
- ②補助棧・横棧(横架材)を入れます。
- ③胴縁・補助棧の留め付けは指定ビスを使用します。

モエンの自重による垂れ下がり防止するため、補助棧で支え、胴縁は断熱材の厚みごとに指定のビスで留め付け、長さ・間隔・留付方法も条件により規定します。

※縦胴縁仕様・横胴縁仕様、各々の規定を設けています。

※モエン横張り(縦胴縁仕様)では「3階建てへの施工基準」および「断熱材の厚みが50mmを超え75mm以下」、「断熱材の厚みが75mmを超え100mm以下」を別途ご用意しております。

※「モエン大壁工法の外張り断熱工法」の場合の施工基準」を別途ご用意しております。

弊社営業所またはお客さま相談室までお問い合わせください。

※横胴縁仕様のみとなります。

横胴縁仕様 例

